

# 新潟市の耳鼻咽喉科健診に関する アンケート調査結果

○大滝 一、金子真奈美、大倉隆弘、畠野聖子、鳥居 俊  
坂爪 誠、大野吉昭（新潟市） 廣川剛夫（魚沼市）

第43回全国学校保健・学校医大会（熊本）  
平成24年11月10日 於：ホテル日航熊本

# アンケート調査について

目的 健診への意識調査を行い今後の健診を見直す

期日 平成23年8月1日～8月31日

対象 学校健診を行っている新潟市内の開業医 40名

回収率 40名中38名より回答(回収率95%)

新市域 11/12名…… 校医単独の重点健診が多い

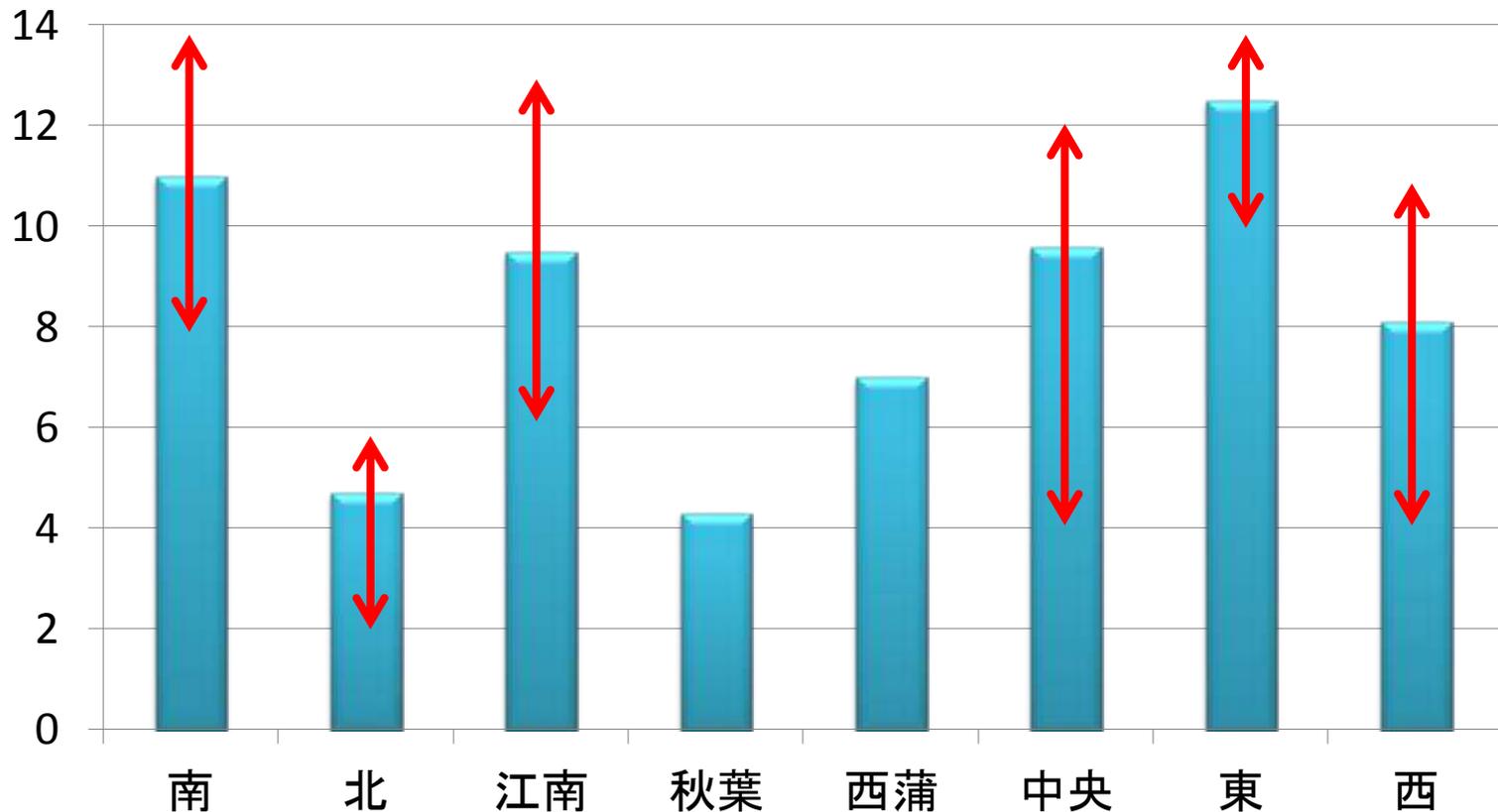
旧市域 27/28名…… 応援医も加わり全児童健診

- 内容
- ①健診方法など選択式 25問
  - ②学校医、健診校の希望
  - ③健診、学校保健に関する自由意見

# 区別の健診日数(小学校)

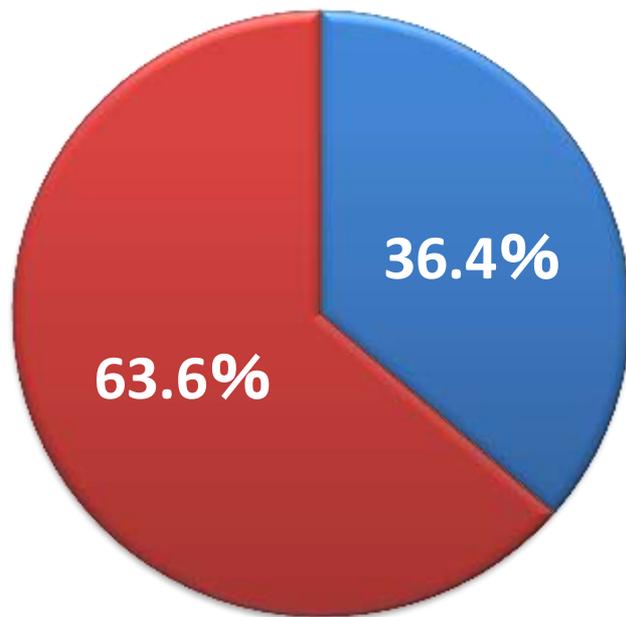
新市域 7.3日(南、北、江南、秋葉、西蒲)  
旧市域 10.1日(中央、東、西)

(日)

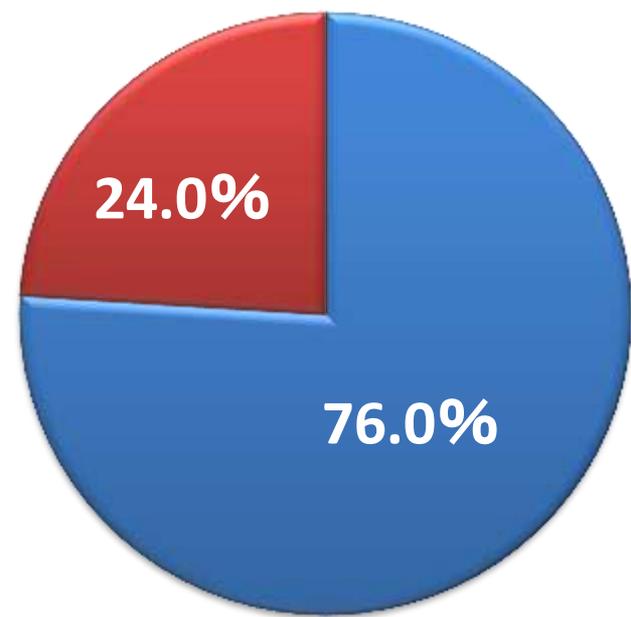


# 健診と疲労度

新市域



旧市域



■ 影響あり  
■ 影響なし

# 学校医と健診内容

	科	校医数	校数	平均	健診方法	開業医
内科健診	内科	52	60	1.2	一人で全員 複数日	258
	小児科	35	44	1.3	600人以上で 応援医1人1日	67
眼科健診	眼科	43	112	2.4	一人で全員 1クラス5分	43
歯科健診	歯科	111	112	1	複数医師 1人130人	493
耳鼻科健診	耳鼻科	37	112	3		37

# 定期健康診断の検査項目と実施学年

小学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年
健康診断	◎	◎	◎	◎	◎	◎
聴力検査	◎	◎	◎	▲	◎	▲

中学校	1年	2年	3年
健康診断	◎	◎	◎
聴力検査	◎	▲	◎

高校	1年	2年	3年
健康診断	◎	◎	◎
聴力検査	◎	▲	◎

幼稚園	
健康診断	◎
聴力検査	◎

大学	
健康診断	◎
聴力検査	▲

◎ほぼ全員に実施されるもの  
○必要時、必要者に実施されるもの  
▲除くことができる

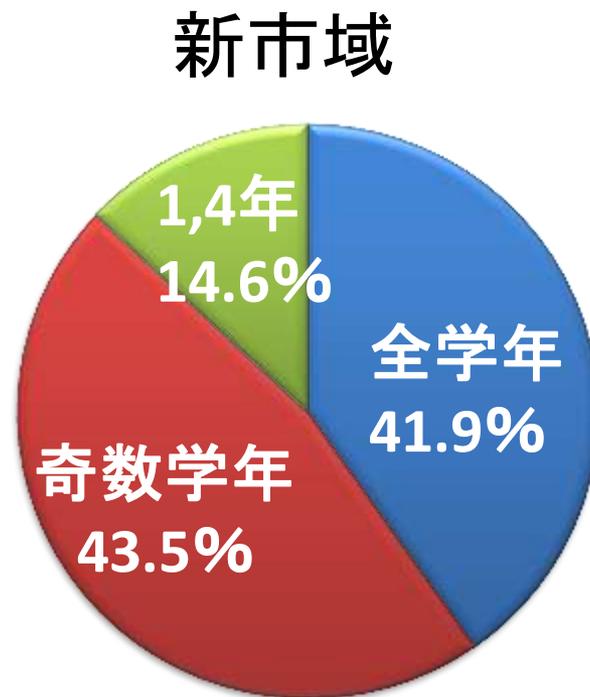
浜松市 小学1、4年生  
熊本市 重点健診中心

新発田市 奇数学年  
長岡市 全学年  
上越市 奇数学年+α

# 現在の健診学年

旧市域(中央、東、西区)の51校では全学年健診

	全学年	奇数学年	1,4年生
南	2	9	0
北	4	9	0
江南	10	0	0
秋葉	5	0	8
西蒲	5	10	0
	26	28	8



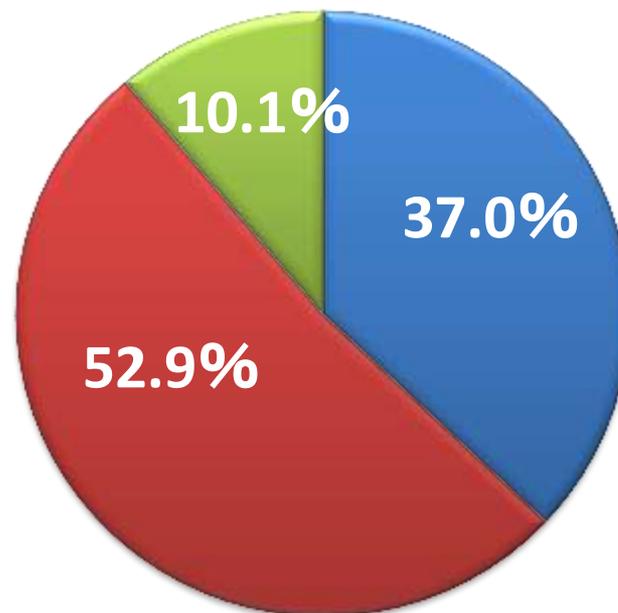
# 健診方法、学年に関する希望

## 新市域



■ 校医  
■ 集団

## 旧市域



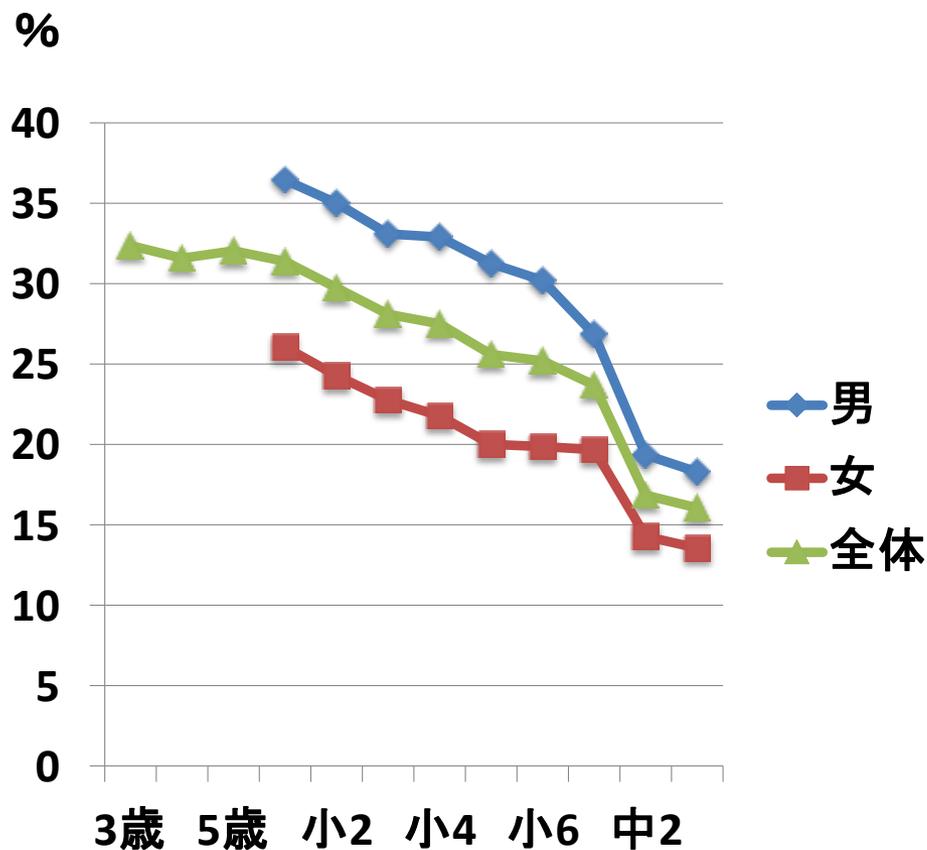
■ 全・集  
■ 減・集  
■ 校医

健診学年を減らす1名  
増やす1名

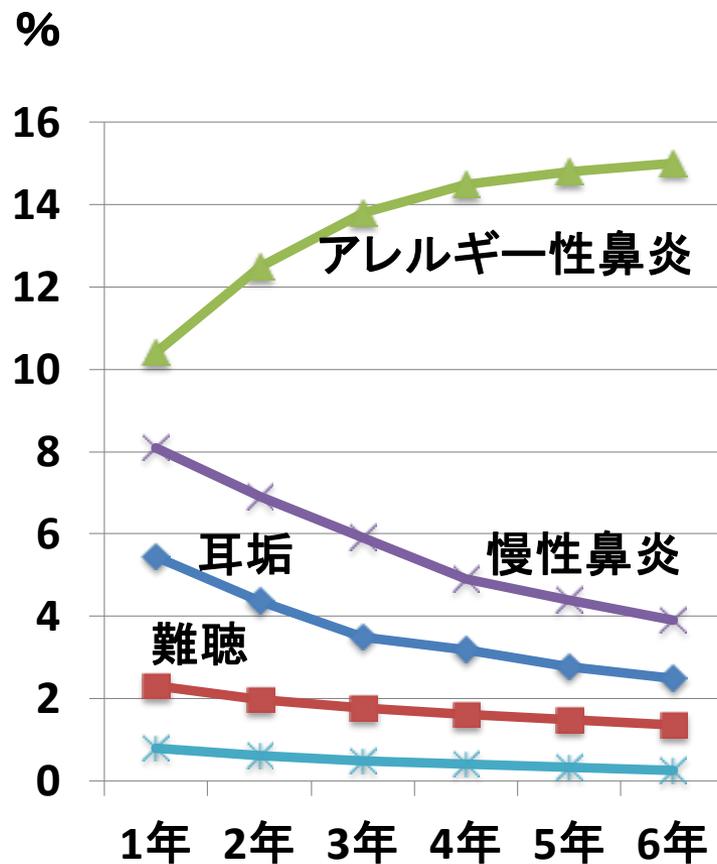
# 自由意見

- 高学年の健診は不要、保育園健診の充実(7件)
- 健診の回数が多すぎる(4件)
- 遠方の健診は避け近い学校にしてほしい(5件)
- 健診の他に学校医は耳鼻科疾患の啓蒙活動を(3件)
- 健診応援医にも交通費の支給と身分保障を(4件)
- 報告書の結果をきちんと知らせてほしい(7件)

## 保育園～中学の有所見率 (平成11年～20年)



## 小学生の有所見率 (昭和54年～平成20年)



# 今後の方向性

現在の健診方法が確立し40年経過し、当時とは病態などが大きく変わっており、健診方法の見直しの時期に来ている

- 教育委員会から要望がある全区で全学年は困難
- 高学年健診を減らし保育園(幼稚園)健診を増やす
- 旧市域＋江南区は重点健診を(奇数学年など)
- 新市域は現状維持(1, 4年 → 奇数学年)
- 学校医は耳鼻科疾患の啓蒙活動を行う
- 教育委員会、障害福祉課への働きかけ